

委員長 傍聴についてご報告いたします。

本日の教育委員会会議に4名の方から傍聴したい旨の申し出があります。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これをお認めいたしますので、ご了承願います。

それでは、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入場)

◎開 会

委員長 ただいまから平成22年1月定例教育委員会会議を開催いたします。

◎会議録署名委員の指名

委員長 開会に当たり、本日の会議録署名人を瀧田委員にお願いします。

◎議案の提出

委員長 皆さん、新年おめでとうございます。傍聴人の皆さん、新年おめでとうございます。昨年はいろいろお世話になりました。

ことは、1月と4月に千葉県の教育委員会会議があり、5月には関東甲信越静の教育委員の研修会が開催されます。その意味では5月まで身を引き締めて頑張りたいと思っています。とりわけ事務局の皆さんにはいろいろ忙しい仕事が続くと思います。どうぞよろしくお願いします。

それでは、日程に従い議事を進めます。

本日は議題はなく、報告等1件となっております。

◎第55回松戸市七草マラソン大会の実施について

委員長 それでは、議事を進めます。

初めに、「第55回松戸市七草マラソン大会の実施について」をお願いします。

スポーツ課長 では、スポーツ課のほうから第55回松戸市七草マラソン大会の実施につきます。

てご報告をさせていただきます。

資料のほうをご覧くださいと思います。

まず、2ページ目のほうから開催要項がございます。これは冒頭お話ししましたように、第55回ということで歴史のある大会でございます。これにつきましては、主催は松戸市体育協会、それから松戸市教育委員会主催で行いまして、共催は毎日新聞、あとは主管につきましては松戸市七草マラソン大会実行委員会という形で実施しております。協力は松戸警察署、松戸東警察署など、関係団体にご協力をいただきまして実施しているところでございます。

期日につきましては、1月10日日曜日、会場につきましては例年同じように松戸運動公園、周辺の道路を使いまして大会コースを設定しまして実施しているところでございます。

次に、種目でございますが、1から15までということになりますが、大まかに言いますとお子さんと親で来るファミリーという形で2kmの部、それから小学生の男女、これが2kmでやっております。それから、中学生の男女、これが3kmと中学生の5kmがございます。それから、高校生から一般女子、高校女子ということで5kmコースを設定しております。そして、一般男子10km、高校男子10km、一般女子10kmというふうなことで種目を設定しております。

あと、参加費につきましてはこちらのよう小学生、中学生が700円、それから一般は2,000円、それから高校生が1,500円という内容でございます。

例年、申し込み期間は前年10月1日から11月30日までということで2カ月間、主には郵便、それからインターネットでの申し込みを受け付けております。

4ページ目をお開きいただきたいんですけども、参加者の一覧でございます。前年と比較しましてことは、昨年は申込者が合計で2,223名ということでございますが、今回につきましては3,000名を超える3,018名ということで、大変申込者が増えております。この増えている内容を見ますと、大体小学生、それから一般10kmのほう、特に女性のほうの増加がかなり多いのかなと見ております。これは、やはり今それこそ女性のダイエットブームじゃないのかなというようなこともありますし、最近女性のランナーも大変増えていると聞いておりますので、そんな影響もあると思っております。この3,000名を超える数というのは、実際に今現在見ますと、今現在の陸上競技場のトラックを使つてのスタート、やっぱりスタートが問題なんですけれども、スタートを見ますとここがぎりぎりぐらいかなということになりますので、今後これが増えるとなると、スタートする場所とか、その辺も少し工夫してこななければいけないかなと思っております。

それから、5ページがマラソンコース全体のコースでございます。これは県立松戸高校、

専修松戸高校を中に挟みまして、これをぐるっと回ってくるコース、これが5kmに当たります。10kmコースは、この5kmコースを使いまして、八ヶ崎小学校の前の新しくできた道路がございますが、その道路を折り返ししてまた運動公園へ戻ってくるというコースで10kmという内容です。

それから、小学生のコースにつきましては運動公園の外周を1回回る、そして中学生の3kmにつきましても外周と、中を使って3kmコースを設定する、そういうふうな内容で協議を実施しています。

次のページのほうが主に出発の時間、それから通行どめの期間、交通規制になりますけれども、このような内容でやっております。それぞれスタート、先ほども申しあげましたように、10kmについての男女含めまして人数がかなり多くなっているというところがございます。

それで、7ページ目なんですけれども、これは七草マラソン大会の変遷ということで、第1回から、昭和31年から現在までということで、大きく変わってきたところをお話し申し上げますと、平成13年から、46回、ここから今現在の大会形式、自動着順判定システムを導入しました。これは今現在行われているのはゼッケンの裏側にチップをつけまして、そのチップをあらかじめコンピューターのほうに時間、それから種目を全部入れまして、それから個人の情報も入れたものをそれぞれの選手が持って走るということですね。ゼッケンにつけたまま走るということで、規定の時間にスタートして、ゴールするときにそれぞれそのチップを判定するという形で、一人一人の着順、それから自分のタイムが自動的に判明できるような形で、平成13年の46回からそういう方式をとっております。実際にこの方式をとることによって、一般ランナーの参加が相当多くなったと考えております。これはかなりマラソン、全国的にやられている方式になっております。

昨年から現在のコースを使って行われておりますけれども、昨年から道路の規制を松戸警察、松戸東警察のご協力を得まして、以前までは車も同時に走っていたというコースをランナーが走っていたわけですが、昨年から完全に、一部分まだ車と一緒に走らなければいけない部分がございますけれども、全体的には車を規制して、ランナーが安全に走れるような状況で参加していただいているということでもありますので、その辺では両警察署のご協力は我々としても大変ありがたいなと思っております。

それから、近隣でどんなようなマラソン大会をやっているかということで、多少調べたところがあるんですけども、なかなかこの時期にやっている大会って案外少ないようです。それで、市川市では元旦マラソンというのをやっております、元旦マラソンはこの前のニ

ューズ報道によりますと、836人の参加ということで、これは10kmと5kmのコースがあるということでございます。あとは流山でも、これは毎年10月、1,500人ぐらいが参加されて、10km、それから2kmでやられているということです。それから、船橋については11月に行っておりまして、これも900人前後ということでございます。お隣、柏、我孫子で共同開催しております手賀沼マラソンがございますけれども、これについては9,000人を超える参加の大変大きなマラソン大会でございます、これはハーフマラソンで、陸連の公認の大会で、毎年9,000人を超えるような参加者があるようでございます。

それから、市民マラソンとして大変有名なのは東京都で開催されます東京マラソンです。これが来月2月28日に開催されますけれども、それはフルマラソンに3万2,000人の定員ということで、それもいつも応募者が多くて抽せんという話を聞いております。

以上、第55回松戸市七草マラソン大会に関しましてご報告させていただきます。以上でございます。

委員長 どうもありがとうございました。

山田委員 まず、資料でちょっと教えていただきたい。聞き漏らしていた。申し込み方法の中のアップロード、ランテスというのは、ホームページのアップロードと、ランテスというのは何でしょうかというのが一つと、それから主催が体育協会と教育委員会、それから競技運営が陸上競技協会ということで、それぞれの役割について教えていただきたいのが2点目です。

それから、これは恐らくボランティアスタッフの方がたくさんいらっしゃると思うんですけども、何人ぐらいで運営されていて、これは協力を見ると体育指導員の方が中心なのかなと思いますが、ボランティアスタッフについて教えていただきたいという点でございます。

続いてあと1点。路線バスは時間どおり走っているように記載してありましたけれども、これはうまくその間を縫って抜けているのか。危険はないのかということです。

最後に、これ費用は申し込みの参加料がそれぞれあって、参加費で大体賄うものなのか、あるいは主催団体のどちらかのほうで何らかの費用支出をしているのか。私はこういう体育行事、市民の健康の維持、あるいは児童も含めて目標に向けて頑張るとするのは非常によく、出しちゃいけないという趣旨でなく、適切に支出されるのであればそれでいいだろうという前提ですけども、ちょっとその費用の関係を教えてください。

以上です。

スポーツ課長 まず主催関係です。それからこちらのほうは陸上競技協会が主な重要な部分というんですか、その部分については陸上競技協会の役員の方々にご協力をいただいていると

ころでございます。それから、先ほど申し込みのランテスとかいうの、これはすべてホームページで雑誌、「ランナーズ」とか、それからそういうような雑誌を掲載しているところ、そこに申し込みの窓口をつくっていただいて、そこを経由して申し込む。そのときに1件当たり幾らとかいう手数料がかかるんですけども、そういう窓口をつくりまして、そこから申し込みできるような方向であります。

山田委員 それがランテスですか。

スポーツ課長 はい。ランテスと、アプロードです。

山田委員 すみません。アプロードというのはホームページ申し込みでアップロードすることで申し込みになりますという意味ではないんですか。

スポーツ課長 アプロードというところと、それからランテスという2カ所があります。

瀧田委員 窓口が2カ所ということですか。

スポーツ課長 はい。窓口として2つございます。業者の名前になりますね。それはこういうマラソンの申し込みをいろんなところから受けてやっているところでございます。

それから協力の団体の関係でございますが、これは先ほど体育指導委員のほかに、主には体育協会加盟団体にご協力をいただくという形で、各加盟団体から何名かを、3名とか5名とか各団体からご協力をいただいてやっております。

そして人数、競技役員で350名のご協力をいただいております。これは路上観察員、一番人数が多いんですけども、路上観察員を含めまして総務から全体で350名ということになっております。

バスのほうは北松戸駅から県立松戸高校までのバスが運行されておりますけれども、やはり昨年は10分ぐらいの遅れが出たということもございます。一時的に。それはちょうどランナーが重なってしまったとか、そのときは一切車が、ちょうど県立松戸高校からグリーンベルトのほうに出てくるときに、ほとんど車が出ていけないという状況になりますので、そのときにはどうしても待たされてしまうということもございます。それで、今年はそのこともございましたので、北松戸までは大体の方、ご利用者はわかっているんですけども、そこから先、松戸駅東口まで行くコースでございますので、その先については何で遅れたのかということで、多少昨年はバス会社のほうに利用者から問い合わせがあったということ聞いておりますので、今年バス会社のご協力をいただいて、各バス停に当日張り紙をしてもらうというご協力をいただいております。

それから、あと費用の面でございますが、これは今回主には実際には参加者の申し込み料

が基本でございますけれども、そのほかにプログラムをつくります際の広告料を協賛という形でいただいております、それからあとはゼッケンに企業の名前を入れさせていただいて、それら大会の協賛金という形でそれらの広告料として収入を得ているところがございます。

それから、大会の補助金として体育協会のほうからの補助金を30万ほどいただいております。

それから、これは前年度の繰越金もございますので、これについては80万ぐらいございます。それも含めまして運用しているところでございます。

あと、千葉県のスポーツ振興基金、そちらのほうから60万の補助を今回はいただいております。これは毎年いただけるものじゃないんですけれども、今回の大会には振興基金のほうからちょうどいしている予算もこの中に入れていただいております。

以上でございます。よろしいでしょうか。

山田委員 ということは、支出はこの七草マラソン大会で繰り越したお金に、主催団体である体育協会が30万円を負担し、県の基金から60万円を今年はいただいて、そのほかは参加料と協賛金で工面されているということですか。

スポーツ課長 そうです、はい。

それから、あと1つ。市のほうから報償費ということで、メダルとかそういうものはこちらで用意させていただいて、あとほかにも消耗品関係がございますので、その辺のところの支出はしております。でも実際には大きなところは先ほど申し上げましたところがほとんどの内容になっております。

川村委員 七草マラソンの沿革を見て、最初は50人から現在にいたっては3,000人以上の方が参加しているということに驚きました。3ページの(5)の件について質問します。「競技中の事故について、応急処置以外一切責任を負いません。」と書いてありますが、今までの大会の中で大きな事故はなかったのですか。

スポーツ課長 それは特に私の把握している中では、今まで聞いている範囲でも全くございません。昨年は競技者のほうで具合が悪くなったということも特に聞いておりませんが、昨年はお手伝いのほうの方がちょっとけがをされたというふうなこともありましたが、ちょっと重いものを持ったときにぎっくり腰をしたということがありますけれども、今までかつてそんな大きい事故を発生したことはございません。

川村委員 ボランティアの方々が怪我をした場合は、ボランティア保険などに入っているのです

額は少額のものということになります。

それから2点目、10kmコース、水飲み場の件でございますが、今現在、水飲み場については用意はしておりません。それで、今後は要望等が多ければまた検討していくことになるかなど、今の時点では考えてございます。

以上でございます。

瀧田委員 走る人も一般的なケアとして、そういうものは事前にある程度の用意もあるでしょうけれども、駅伝でも給水所を置くようになったと思ったものですから、質問しました。みんな水分は持ってはいると思うんですが、子供も高齢者もいることですので、給水所みたいなものをちょっと設置していただくとありがたいと思っています。

拝見していると、2人子供を連れてお父さんが1人で走っているというケースも結構あるようですが、その辺は事故防止ということもあるし、余り自由参加みたいな形でなく親子なら、1対1として、受付の段階でしていただいた方が、事故防止になるかと思えます。

委員長 瀧田委員の家の近くを走っているの、よくごらんになっているんですね。

瀧田委員 はい、拝見させていただいて、楽しませていただいていた。女性役員は交通整理の仕事はしていませんか。

スポーツ課長 やはり先ほど申し上げましたように、350人ということで、かなりのスタッフが必要なんで、なかなか男性ばかりというわけにいきませんので、女性にお願いして、ちょっとトイレのこととか、それからあとは年齢の問題とか、いろいろありますけれども、その辺は配慮しております。

瀧田委員 確か去年も私申し上げて、いや、トイレとか、年齢とかいうお話をしたと思います。出来れば若い人が路上整理で、高齢者は内々でできることをやったほうが安全かなと思ったりにしています。

委員長 本件は議案ではなく、報告事項ということですので、よろしく申し上げます。

山田委員。

山田委員 実行委員長、実行委員会、さっきちょっと主催と、それから協議運営についてお聞きして、何か重要な部分は陸上競技協会が競技運営するというお答えだったんですけども、もう一回確認なんですけど、ちょっと抜けていたのが、主管が実行委員会で、ということは実行委員長は市のほうなんでしょうか。その構成メンバーと、結局こういう企画を毎年改善をされていると思うんですけども、改善・工夫はどなたが主になってやってらっしゃるのか。これだけ続いていますし、今後も続けてもらいたいと思うんですけども、どのような。私

も15年前に出場したことがありますて、そのときはたしか競技場の中で1周半ぐらいしてから出たんです。今は多分それもシステムの導入とかで、そういうふうにはできないからこうされているんじゃないかと思うんですけれども、そういう工夫をだれがして、今後に向けてどういう改善をしていって、永続性があるものか、そこをちょっとお聞きしたいので、よろしくをお願いします。

スポーツ課長 今、実行委員長は松戸市体育協会の理事長が委員長になっていただいております。そして、そこに組織として実行委員会を形成しておりますけれども、体育協会と陸上競技協会、それから市のスポーツ課の職員が入ってやっております。

それで、毎年それぞれ大会が終わりまして、それぞれのいろんな役員ですか、競技役員、それから関係の人たちから、協力団体も含めましてご意見をちょうだいして、次年度にそれぞれのご意見を参考にさせていただいて、それを生かして検討していくというふうな形で今進めております。

以上です。

委員長 本日は議案がないせいか、報告事項に質問が集中しております。当日が、天候に恵まれることを祈っています。皆さん本当ご苦労様です。

瀧田委員 参加者が3,000何名いらっしゃいますが、参加者の内訳は市内と市外に分けて何かデータは出ていますか。

スポーツ課長 これはまだ分析はしておりません。

瀧田委員 ああ、そうですか。それが終わった後でも結構ですので、分析しておいてください。

スポーツ課長 はい、わかりました。

委員長 市外の方もおられるんですか。

スポーツ課長 多いです。

委員長 平成20年1月11日の松戸市七草マラソン大会では参加者が1,984人とあります。恐らくこの数は申込の数とずれがあるかもしれませんね。

スポーツ課長 当日欠席もかなり多いです。

委員長 そういうことですよ。

それでは、報告等についてはこれで終了します。ありがとうございました。

本日の議題は以上です。

◎その他

委員長 その他に移りますが、何かございますか。

部長 委員の皆様の上に写真を置かせていただいております。12月の教育委員会議で教育長からお話があったと思います。一中が紅白歌合戦に出場した時の写真でございます。これはNHKホールで実際に歌っているところ、プロが撮った写真です。ちょっと暗いですが、送られてまいりました。そして、1月15日の広報まつどにはこの写真が掲載される予定だそうです。

つけ加えさせていただきますが、テレビでごらんになった方もいらっしゃると思います。国民的な行事ということで、ごらんになった方も多かったと思っています。日本だけでなく、ハワイ、ブラジル、韓国でも放送されたように聞いております。すばらしい歌声と生き生きした生徒の表情に改めて感動した次第です。

いろいろな話題がありますが、視聴率が久しぶりに40%を超えたというようなニュースが流れていました。「浜崎あゆみ」さんが一番最初に出演、あのあたりは32%ぐらいだったそうです。「いきものがかり」と一中生が歌った「Y E L L」という曲のときの視聴率が37%、後半どんどん上がり、最高はDREAMS COME TRUEというグループで、50.1%、50%を超えたそうです。ちなみに「SMAP」が48.1、「北島三郎」が48.3、「氷川きよし」が43、「小林幸子」が42.9という数字が出ていました。

当日の舞台での歌の様子を見ていて、アリスというグループの谷村新司さんが舞台のそでで一中といきものがかりの歌を聞いていたとき、いきものがかりよりも生徒たちのほうがすばらしいという感想を漏らしていたという情報も入っております。

それから、一中の塩沢校長先生が市内のラーメン屋さんに入ったら、すごいね一中はと褒められたとか。

それから、4日、教育長と本部長と私と市長さんのところに年頭のごあいさつに伺った時も、やはり話題が一中の紅白のことになりました。学校も教育委員会も盛り上がっていると思うんだけど、町内会とか地域のほうがもっと盛り上がっているよとの話もありました。いろんなところで反響がありました。私もあちこちで一中の合唱ってすごいんだねという話を伺いうれしく思った次第です。

もう1点、新年になって1月2日と3日に箱根駅伝が行われました。大学が18校、選抜が2つ、20チームが出場しました。本当にただ走るだけの競技ですが、何となく引きつけられるというか、1本のたすきを10人の選手が引き継いで、山登りしたり、山下りしたり、いろ

んな感動のドラマがあったのかなと思います。

確認しました、松戸出身の4人の選手があの中にもいました。駒澤大学の1区を走った後藤田君、彼は新松戸北中出身で、埼玉栄高校から駒澤に行っている。東京農大の6区を走った松岡君、彼は栗中から柏南高校で東京農大に行っている。帝京大で7区を走った渡邊君、彼は一中から八千代松陰、帝京大と行っている。大東文化大の8区を走った土田君、彼は古ヶ崎中から市立松戸、そして大東文化大で選手として走りました。4人の選手が走っていました。

ほかにも正月に高校サッカー、千葉県代表は八千代高校、それからラグビーでは流通経済大柏、近くの学級ですから、市内出身の生徒たちもいたのかなというふうに思います。

また、スポーツ課長からお話がありました。10日に七草マラソン、実は中学校は銚子半島1周駅伝大会がちょうどこの日にぶつかっているんです。中学生の参加が少ないのかなと思ったんですけども、選手級の人たちはそっちへ行っていると思います。61回を重ねる伝統ある大会、銚子駅下の港のところがスタート、犬吠埼をぐるっと回ってくる二十二、三キロのコースを8人のランナーがたすきをつなぎます。今年は81校が参加します。県内、茨城県、神奈川県、群馬県、福島県からも参加します。松戸からも20校中12校が参加します。例年上位のほうに何校か入りますので、今年もまた期待できるのかなと思います。

今年も様々な場面で子供たちの活躍する姿が見られるかなと思います。我々も精いっぱい支援していきたいと思っています。見守っていただければありがたいかなと思います。

以上、報告です。

委員長 ありがとうございます。

NHKの紅白歌合戦のこともそうですが、後日放映された、裏舞台を紹介したのもよかったですね。

川村委員 歌手の方も感動して、涙を流していましたね。

委員長 そういう意味で、とてもいい内容で松戸市を紹介していただいたと思います。ありがとうございました。

八田委員 箱根駅伝の話がでましたので、関連したお話をいたします。何年か前までは順天堂大学は駅伝常勝校でした。千葉順天堂は佐倉市の近郊に体育学部があり、何回か優勝したとき、たしか松戸医師会の要請があったように記憶していますが、沢木啓祐監督が部員を率いて松戸の運動公園でデモストレーションをし、松戸の中学生を指導したことがありました。そこで走り方とか練習方法など細かなところを指導していましたが、松戸の中学生の中には結構早い生徒もいましたが、沢木監督は部員を実際走らせてみて、駅伝の選手のスピードはどの程

度なのかを実感させていました。何周か走らせて、ラスト一周の掛け声とともにスピードを上げる訓練を生徒は固唾を呑んで見ていました。実のところ、一昨年あたりからこの学校は全然駄目になってしまいました。私も母校ですので何とかと応援するのですが。教育委員長のところの青山大は強くなってきましたね。すみません、違う話に終始して。

山田委員 インフルエンザは、先生、どうですか。

八田委員 新型インフルエンザについて、5月ころから流行の話をしていきました。予想通り、大したことはなくだんだん減ってきているように思います。しかし、そろそろ、「季節性」のものが始まっていますが、新型の方はそろそろ終わりと思っています。

山田委員 例えばさっきの七草マラソンとか、集まりごとを非常に自粛する空気が最近とんと変わってきて。

八田委員 いいえ、その後はこのまま推移しそうだからいいんじゃないかと。医師会内部の大多数はそういうふうには言っています。

山田委員 私はいつまでこの過敏な反応を続けるのかなと、去年のはやり始めるときに、無責任にそんなことは言えないですが、これが正常化してきた。学校の対応もなくなってきましたね。

八田委員 教育関係者はよく知っていることと思いますが、今頃になって、これまでは少し過敏になり過ぎたかと。これからは学級閉鎖を含めて今までとってきた対策に問題がなかったかなど色々な方面から議論され、いわれて始めるのではないかと考えております。

委員長 その点に関してですが、学級閉鎖や休校にしたあとの補習授業等は、どのようになっていますか。

部長 前回の委員会でも報告させてもらったと思いますが、ほとんどの学校で調査したところ、2学期末でほとんど補えた、やれたんですけども、2回3回、最高で3回ぐらい閉鎖した学級があります。その学校については終業式の午前授業をやって午後に終業式を、午前中始業式をやって午後授業をやり、カバーしてきていますが、何校かは年度末、この3月まで持ち越す可能性もあります。ほとんどの学校で9割5分ぐらいまでは2学期の末で終わっていると思います。

ちなみに、ここのところ全然インフルエンザの報告はありません。ですから、学級閉鎖もないと思います。ただ、この後、どういうふうな状況になるかわかりません。過敏にならないよう県からも季節型のインフルエンザ、20%ぐらいの範囲でという文書が来ました。学級閉鎖も40人いれば8人から9人ぐらいで対応していきたいと思っています。

委員長 WHOではまだまだもう少し用心する必要があるというような新聞記事がありましたね。

私のほうから一つご報告します。千葉県の教育関係の団体が22団体集まって子ども支援千葉県連絡会という会を作っています。会の目的は、千葉県の義務教育における教員及び教育予算の充実を支援することであり、その活動の一つとして署名運動を行っています。集まった署名簿を持参する形で12月21日に森田県知事にお会いして、それをお渡ししてきました。

その際の県知事のお話では、これからは千葉県の教育についても力を入れていきたいということでした。新聞報道では、県知事の年初の抱負でも、やはり似たような内容のことを話しておられます。

以上が私の報告事項です。

それでは、ほかに何もなければ次回の教育委員会会議の日程について、お願いします。

企画管理室長 平成22年2月定例会でございますが、2月4日の木曜日、午後2時からこちら5階会議室で開催されてはいかがでしょうか。

委員長 先生方、よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、確認いたします。

次回教育委員会会議は2月4日木曜日、午後2時から教育委員会5階会議室にて開催いたします。

◎閉 会

委員長 以上をもちまして平成22年1月定例教育委員会会議を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午後 2時55分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会委員長

松戸市教育委員会委員